

「県産素材を広く宣伝」

エヌエージーン弘前オフィス開設

市、県と立地協定調印

美容と健康をテーマに多彩な事業を展開する「N. A. gene (エヌエージーン)」（本社八戸市、名嶋眞智社長）の弘前オフィス開設に伴い、同社と県、弘前市の3者が29日、弘前大学創立50周年記念会館で、立地協定調印式を行った。

同社は機能性食品や化粧品の研究開発、フィットネスクラブの運営などを手掛け、近年は弘前大学とも連携して県産素材に着目。「ふくろふのり」石けんやサケの鼻軟骨から抽出するプロテオグリカンを配合した化粧品などを開発してきた。

調印式には名嶋社長と櫻庭洋一県商工労働部長、葛西憲之弘前市長、来賓として加藤陽治弘前大学副学長が

出席。名嶋社長は「県め、国内外に宣伝して産素材の商品化を進めたい」と力を込めた。

弘前オフィスはコラゴ弘大内に構え、8月の開発を目指すという。県産素材に着目した化粧品やサプリメント